



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本パーカライジング株式会社  
コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 多一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	71,448	0.1	10,830	△5.5	12,779	△4.3	7,637	△2.8
26年3月期第3四半期	71,357	8.1	11,465	14.9	13,359	17.6	7,859	22.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 13,534百万円 (△9.9%) 26年3月期第3四半期 15,023百万円 (98.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	123.18	—
26年3月期第3四半期	126.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	181,367	128,368	59.4	1,737.52
26年3月期	165,914	117,672	59.5	1,591.71

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 107,724百万円 26年3月期 98,644百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.50	—	15.00	27.50
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	2.2	15,000	△2.6	17,000	△5.8	9,500	△6.3	153.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	66,302,262 株	26年3月期	66,302,262 株
27年3月期3Q	4,303,163 株	26年3月期	4,328,606 株
27年3月期3Q	61,996,978 株	26年3月期3Q	61,959,899 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13
(3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)における世界経済は、USドルが上昇するなか、原油価格の下落から産油国通貨を中心に通貨価値が大きく変動し推移しております。また、ギリシャの財政問題の再燃から欧州経済の先行き懸念が高まりつつあり、一人勝ちの様相の強い米国経済は雇用や個人消費が総じて堅調に推移しておりますが、アジア経済の回復基調は緩やかで回復感の乏しいものとなっております。一方、国内経済は雇用・所得環境の改善から個人消費は回復しつつありますが、秋以降は景気の減速感も感じるなど依然厳しい状況で推移しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、円安による国内回帰の声も聞かれますが、国内の自動車生産には大きな改善がみられませんでした。もう一つの柱である鉄鋼業界では、鉄鋼需要は改善されつつあるものの、過剰供給による厳しい需給環境が続いております。

このような状況において当社グループでは、ユーザーニーズであります高品質、低コストに繋がる高付加価値技術の提供に努めるとともに、海外需要を着実に捉えるため、北米、メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備の増強を図っております。また、将来の市場優位性を確保すべく、さらなる新技術の創出を目指し、研究開発活動にも注力しております。

第3四半期累計期間の連結業績は、**売上高** 71,448百万円と前年同四半期に比べ90百万円(0.1%)の増収で推移いたしました。相対的に前第3四半期が好調に推移していたこともあり増収幅が縮小いたしました。3ヶ月毎の売上高は、第1四半期23,193百万円、第2四半期24,752百万円、第3四半期23,502百万円で推移しております。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同四半期に比べ薬品事業が4.1%、加工事業が5.6%の増収となる一方で、装置事業が△14.7%、その他が△30.0%の減収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が△0.1%、アジアが△1.5%の減収、欧米が11.2%の増収で推移しております。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております)

**営業利益**は10,830百万円と前年同四半期に比べ△634百万円(△5.5%)の減益となりました。原材料費、燃料費等の高騰の影響があるものの、売上総利益は27,574百万円と328百万円(1.2%)の増益となりましたが、**販売費及び一般管理費**が16,743百万円と963百万円(6.1%)増加いたしました。この内訳は人件費が4.9%、経費が7.9%それぞれ増加であります。

**経常利益**は12,779百万円と前年同四半期に比べ△579百万円(△4.3%)の減益となりました。**営業外の収支**は1,948百万円のプラスとなり、前年同四半期に比べ55百万円増加いたしました。受取配当金、受取賃貸料などが増加した一方で、持分法による投資利益が減少いたしました。この結果、当第3四半期累計期間の**総資産経常利益率(ROA)**は7.4%(年換算9.8%)と前年同四半期に比べ△1.2%低下いたしました。

**四半期純利益**は7,637百万円と前年同四半期に比べ△222百万円(△2.8%)の減益となりました。当期においては、復興特別法人税の廃止により国内会社の法人税率が若干低下いたしました。

## 【連結決算の概況】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
<b>当第3四半期累計期間 (平成27年3月期)</b>	71,448	10,830	12,779	7,637
前第3四半期累計期間 (平成26年3月期)	71,357	11,465	13,359	7,859
増減金額	90	△634	△579	△222
増減率	0.1%	△5.5%	△4.3%	△2.8%

## 【為替の影響額】

当期の為替換算レートは、ASEANの一部の通貨を除き、概ね円安にシフトしております。損益計算書に与える影響額は、売上高で584百万円程度の増収、営業利益で89百万円程度の増益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益(営業利益)			
	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	31,188	32,471	1,282	4.1%	8,667	8,760	93	1.1%
装置事業	12,233	10,439	△1,793	△14.7%	794	223	△570	△71.8%
加工事業	25,256	26,662	1,406	5.6%	4,873	5,039	165	3.4%
その他	2,679	1,874	△804	△30.0%	418	175	△243	△58.1%
調整額(消去)	—	—	—	—	△3,288	△3,368	△80	—
連結損益計算書計上額	71,357	71,448	90	0.1%	11,465	10,830	△634	△5.5%

## ① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は32,471百万円と前年同四半期に比べ1,282百万円(4.1%)の増収となり、営業利益は8,760百万円と93百万円(1.1%)の増益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では無電解めっき液、防錆油などが好調に推移いたしました。金属表面処理剤の需要は伸び悩みました。海外ではタイの減収を中国、韓国などの増収でカバーし、海外全体では増収で推移いたしました。また、収益面では原材料費の高騰などの影響により伸び率は低いものとなりました。

## ② 装置事業

外部顧客に対する売上高は10,439百万円と前年同四半期に比べ△1,793百万円(△14.7%)の減収となり、営業利益は223百万円と△570百万円(△71.8%)の減益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。当第3四半期会計期間3ヶ月では営業損失となる厳しい状況で推移いたしました。第4四半期会計期間で持ち直すことが見込まれます。しかし、採算性の低下は否めず事業環境は厳しい状況で推移しております。

## ③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は26,662百万円と前年同四半期に比べ1,406百万円(5.6%)の増収となり、営業利益は5,039百万円と165百万円(3.4%)の増益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では機械、建材向けの加工処理が堅調に推移し、北米、中国なども需要増加から好調に推移しております。しかしながら、海外主力のタイでは自動車生産の減産から厳しい状況が続くとともに、海外人件費の増加などにより収益の伸び率は低調に推移いたしました。

## ④ その他

外部顧客に対する売上高は1,874百万円と前年同四半期に比べ△804百万円(△30.0%)の減収となり、営業利益は175百万円と△243百万円(△58.1%)の減益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、運送事業などを営んでおります。運送事業は堅調に推移しておりますが、ビルメンテナンス事業は減収減益で推移したほか、不動産賃貸事業などを営む連結子会社が、持分法適用会社へ移行したこともあり減収減益となりました。

## 【投資情報】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
減価償却費(有形固定資産)	2,488	2,564
設備投資額(有形固定資産)	3,784	6,621
研究開発費	1,586	1,585
有利子負債	5,105	1,502

## (2) 財政状態に関する説明

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 15,453 百万円増加し 181,367 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では受取手形及び売掛金が 2,781 百万円、仕掛品（未成工事支出金等）などでたな卸資産が 3,363 百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では有形固定資産が 5,230 百万円、投資有価証券が 4,362 百万円それぞれ増加する一方で、無形固定資産が 1,113 百万円減少いたしました。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し 4,757 百万円増加し 52,998 百万円となりました。主な増減といたしましては、支払手形及び買掛金が 1,738 百万円、固定資産の購入に伴う設備支払手形や設備受注に関する前受金などで流動負債その他が 5,719 百万円増加する一方で長期及び短期借入金が 2,646 百万円減少いたしました。

少数株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 10,696 百万円増加し 128,368 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金の増加により株主資本が 5,105 百万円、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の増加によりその他の包括利益累計額が 3,974 百万円、少数株主持分が 1,615 百万円それぞれ増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 59.4%と前連結会計年度末と比較し 0.1%減少するとともに、1株当たり純資産は 1,737 円 52 銭と 145 円 81 銭増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## (通期の見通し)

今後の経済環境は、為替変動、原油価格の下落、欧州の財政問題など、先行き不透明で見通すことが大変困難な状況となっております。また、欧州、アジア、そして日本の経済回復力には力強さが感じられず、本格的な回復にはもうしばらく時間がかかるものと見込まれます。

このような状況の中、今後とも当社グループでは、原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めるとともに、海外への設備投資を積極的に進め、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、当第3四半期累計期間の業績は、計画の範囲内で推移しており変更はありません。

## 【通期連結業績（平成27年3月期）の見通し】

	平成27年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第3四半期)
売上高	102,000 百万円	2.2%	70.0%
営業利益	15,000 百万円	△2.6%	72.2%
経常利益	17,000 百万円	△5.8%	75.2%
当期純利益	9,500 百万円	△6.3%	80.4%

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。]

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の繰延税金資産が344百万円、退職給付に係る負債が972百万円それぞれ増加し、利益剰余金が627百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,005	37,614
受取手形及び売掛金	30,167	32,949
有価証券	3,649	3,829
商品及び製品	1,908	2,321
仕掛品	4,192	7,007
原材料及び貯蔵品	4,137	4,273
その他	4,091	5,045
貸倒引当金	△137	△172
流動資産合計	86,015	92,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,747	15,546
土地	15,375	15,089
その他(純額)	13,649	17,366
有形固定資産合計	42,772	48,002
無形固定資産	2,697	1,583
投資その他の資産		
投資有価証券	23,916	28,278
その他	10,643	10,745
貸倒引当金	△131	△111
投資その他の資産合計	34,428	38,912
固定資産合計	79,899	88,499
資産合計	165,914	181,367
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,538	16,277
短期借入金	1,680	45
1年内返済予定の長期借入金	360	135
未払法人税等	2,759	1,030
賞与引当金	2,396	1,174
その他	10,676	16,396
流動負債合計	32,412	35,059
固定負債		
長期借入金	2,108	1,322
退職給付に係る負債	10,313	11,295
その他	3,407	5,321
固定負債合計	15,829	17,939
負債合計	48,241	52,998

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	86,546	91,655
自己株式	△3,623	△3,627
株主資本合計	91,396	96,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,203	9,028
繰延ヘッジ損益	3	△1
為替換算調整勘定	1,176	2,318
退職給付に係る調整累計額	△135	△122
その他の包括利益累計額合計	7,247	11,222
少数株主持分	19,028	20,644
純資産合計	117,672	128,368
負債純資産合計	165,914	181,367

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	71,357	71,448
売上原価	44,111	43,874
売上総利益	27,246	27,574
販売費及び一般管理費	15,780	16,743
営業利益	11,465	10,830
営業外収益		
受取利息	146	161
受取配当金	352	412
受取賃貸料	251	298
為替差益	313	331
持分法による投資利益	668	555
その他	380	379
営業外収益合計	2,113	2,138
営業外費用		
支払利息	51	12
その他	169	177
営業外費用合計	220	190
経常利益	13,359	12,779
特別利益		
固定資産売却益	424	14
投資有価証券売却益	137	2
負ののれん発生益	-	74
補助金収入	-	39
その他	1	-
特別利益合計	563	130
特別損失		
固定資産除却損	29	36
環境対策引当金繰入額	48	-
持分変動損失	-	90
固定資産圧縮損	-	41
その他	1	7
特別損失合計	79	176
税金等調整前四半期純利益	13,843	12,734
法人税等	4,215	3,767
少数株主損益調整前四半期純利益	9,627	8,966
少数株主利益	1,768	1,329
四半期純利益	7,859	7,637

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,627	8,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,480	2,885
繰延ヘッジ損益	—	△7
為替換算調整勘定	2,461	1,565
退職給付に係る調整額	—	11
持分法適用会社に対する持分相当額	454	112
その他の包括利益合計	5,396	4,567
四半期包括利益	15,023	13,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,541	11,612
少数株主に係る四半期包括利益	2,482	1,921

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	31,188	12,233	25,256	68,678	2,679	71,357	—	71,357
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,065	270	96	1,431	978	2,410	△2,410	—
計	32,253	12,503	25,352	70,109	3,657	73,767	△2,410	71,357
セグメント利益	8,667	794	4,873	14,335	418	14,754	△3,288	11,465

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△3,288百万円には、セグメント間取引消去215百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△3,503百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	32,471	10,439	26,662	69,573	1,874	71,448	—	71,448
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	810	233	10	1,054	802	1,856	△1,856	—
計	33,281	10,673	26,673	70,628	2,676	73,304	△1,856	71,448
セグメント利益	8,760	223	5,039	14,024	175	14,199	△3,368	10,830

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△3,368百万円には、セグメント間取引消去281百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△3,650百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社及び一部の国内連結子会社は、平成27年1月1日付で確定給付年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行しました。この移行に伴う会計処理については「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用する予定であります。

なお、本移行に伴う影響額については、算定中であるため記載しておりません。

## 4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	23,193	24,752	23,502		71,448
売上総利益	9,143	9,239	9,191		27,574
営業利益	3,722	3,652	3,455		10,830
経常利益	4,222	4,190	4,366		12,779
税金等調整前当期純利益	4,106	4,186	4,441		12,734
当期純利益	2,398	2,492	2,745		7,637
総資産	163,294	171,390	181,367		—
純資産	118,680	121,565	128,368		—

平成26年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	21,069	25,291	24,997	28,436	99,793
売上総利益	8,301	9,351	9,593	9,481	36,728
営業利益	3,177	4,037	4,250	3,927	15,393
経常利益	3,740	4,642	4,975	4,687	18,046
税金等調整前当期純利益	3,742	5,162	4,938	4,572	18,415
当期純利益	1,992	2,820	3,046	2,283	10,142
総資産	152,175	160,974	164,610	1,303	—
純資産	105,959	110,887	113,973	3,698	—

平成25年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	24年4月～24年6月	24年7月～24年9月	24年10月～24年12月	25年1月～25年3月	24年4月～25年3月
売上高	20,956	23,445	21,631	23,885	89,919
売上総利益	8,153	8,258	8,203	8,184	32,800
営業利益	3,311	3,312	3,357	3,164	13,146
経常利益	3,768	3,648	3,939	3,823	15,179
税金等調整前当期純利益	3,790	3,581	4,193	3,795	15,361
当期純利益	2,065	1,897	2,443	2,058	8,463
総資産	136,176	138,233	139,847	6,892	—
純資産	89,643	90,135	93,488	7,248	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益			
		前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	20,265	20,457	192	1.0%	6,126	6,140	14	0.2%
	アジア	10,123	11,271	1,148	11.3%	1,994	2,184	190	9.6%
	欧米	800	742	△ 58	△7.3%	307	263	△ 44	△14.4%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,065	810	△ 254	△23.9%	239	171	△ 67	△28.3%
	計	32,253	33,281	1,028	3.2%	8,667	8,760	93	1.1%
装置 事業	日本	6,957	6,950	△ 6	△0.1%	433	128	△ 305	△70.4%
	アジア	5,276	3,488	△ 1,787	△33.9%	226	△ 33	△ 259	△114.8%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	270	233	△ 36	△13.5%	135	129	△ 6	△4.5%
	計	12,503	10,673	△ 1,830	△14.6%	794	223	△ 570	△71.8%
加工 事業	日本	16,148	16,524	376	2.3%	3,511	3,593	82	2.3%
	アジア	5,937	6,464	526	8.9%	906	881	△ 25	△2.9%
	欧米	3,170	3,673	502	15.9%	370	481	111	30.1%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	96	10	△ 85	△89.2%	85	83	△ 1	△2.3%
	計	25,352	26,673	1,320	5.2%	4,873	5,039	165	3.4%
報告セグメント計		70,109	70,628	518	0.7%	14,335	14,024	△ 311	△2.2%
その 他	日本	2,398	1,797	△ 601	△25.1%	338	113	△ 225	△66.6%
	アジア	281	77	△ 203	△72.4%	77	59	△ 17	△23.1%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	978	802	△ 176	△18.0%	2	2	0	4.5%
	計	3,657	2,676	△ 981	△26.8%	418	175	△ 243	△58.1%
合計		73,767	73,304	△ 462	△0.6%	14,754	14,199	△ 554	△3.8%
調整額		△ 2,410	△ 1,856	553	23.0%	△ 3,288	△ 3,368	△ 80	△2.4%
連結損益計算書計上額		71,357	71,448	90	0.1%	11,465	10,830	△ 634	△5.5%

所在地別セグメント情報

(単位:百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	48,548	48,862	314	0.6%	10,578	10,143	△ 434	△4.1%
アジア	21,644	21,331	△ 313	△1.4%	3,015	2,946	△ 68	△2.3%
欧米	3,980	4,417	437	11.0%	678	745	67	9.9%
合計	74,173	74,611	438	0.6%	14,271	13,835	△ 436	△3.1%
調整額	△ 2,816	△ 3,163	△ 347	△12.3%	△ 2,805	△ 3,004	△ 198	△7.1%
連結損益計算書計上額	71,357	71,448	90	0.1%	11,465	10,830	△ 634	△5.5%

## (3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)

平成27年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	9,918	10,688	10,528		31,134
売上総利益	3,911	3,856	3,952		11,720
営業利益	1,323	1,200	1,296		3,821
経常利益	2,207	1,820	1,625		5,653
税金等調整前当期純利益	2,201	1,815	1,619		5,637
当期純利益	1,541	1,270	1,133		3,945
総資産	86,557	91,158	93,294		—
純資産	62,211	63,972	65,662		—

平成26年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	9,486	10,573	10,237	10,179	40,476
売上総利益	3,792	3,849	4,197	3,889	15,728
営業利益	1,263	1,290	1,590	1,193	5,338
経常利益	1,984	1,848	1,892	2,296	8,021
税金等調整前当期純利益	1,981	1,840	1,837	2,183	7,842
当期純利益	1,298	1,205	1,203	1,656	5,363
総資産	81,947	85,402	86,049	85,242	—
純資産	57,395	59,267	60,612	61,530	—

平成25年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	24年4月～24年6月	24年7月～24年9月	24年10月～24年12月	25年1月～25年3月	24年4月～25年3月
売上高	10,098	10,219	9,577	9,212	39,107
売上総利益	4,108	3,816	3,840	3,635	15,401
営業利益	1,560	1,204	1,288	1,143	5,196
経常利益	2,102	2,119	1,610	2,176	8,008
税金等調整前当期純利益	2,041	2,117	1,852	1,946	7,958
当期純利益	1,336	1,385	1,215	1,497	5,435
総資産	72,881	75,697	77,177	80,937	—
純資産	50,755	51,859	53,362	56,353	—